

生物に係る調査内容

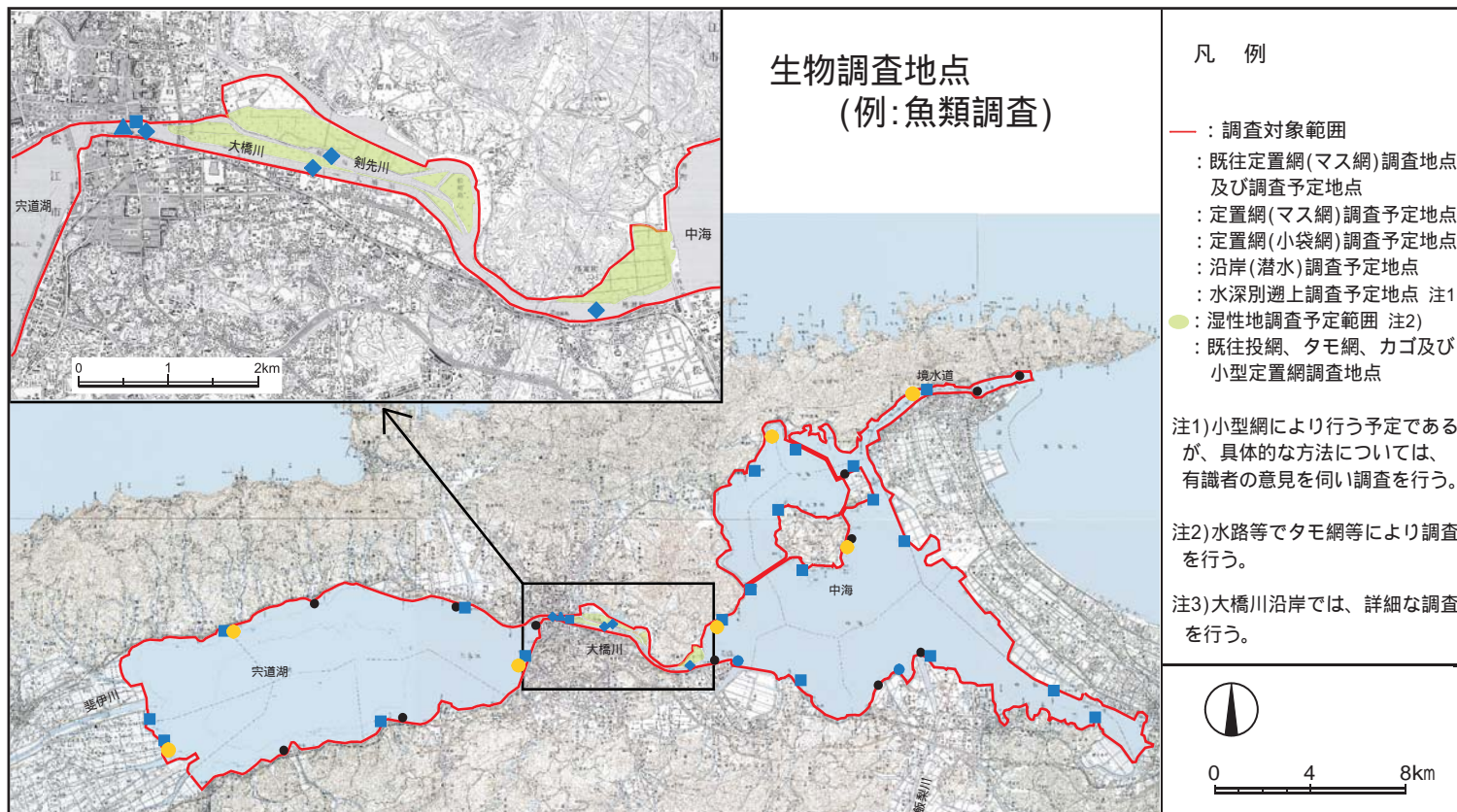
生物に係る調査は、動物、植物、生態系について行います。

■動物・植物

動物・植物の調査は、宍道湖、大橋川、中海(本庄工区含む)、境水道において、P.3に示す調査予測範囲を対象として、動物、植物の生息・生育の地点と量を把握するための調査を行います。

○動物・植物の現地調査

環境要素	調査項目と内容	調査時期
動物	哺乳類、爬虫類、両生類、鳥類、魚類、底生動物、陸上昆虫類・陸産貝類：生息地点と生息量を調査	四季を基本
植物	陸上植物、水生植物(抽水植物、沈水植物、藻類)：生育地点と生育量を調査	四季を基本



※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図および5万分1地形図を複製し、測量法第29条に基づく複製承認『平17中複 第16号』『平17中複 第17号』を転載したものである。

調査結果に基づき、環境省、島根県、鳥取県などのレッドデータブック等により指定されている重要な種および群落への影響を調査していきます。

なお、これまでの整理によって、宍道湖から境水道までの地域では、次のような重要な種および群落が確認されています。

○重要な種及び群落の一覧

【哺乳類】	【鳥類】(続き)	【底生動物】	【陸上植物】
1 キクガシラコウモリ科 2 キクガシラコウモリ 3 オナガザル科 4 リス科 5 クマ科	42 タカ科 43 ハヤブサ科 44 コチヨウゲンボウ 45 コチヨウゲンボウ 46 キジ科 47 ツル科 48 ツル科 49 ナベツル 50 マナヅル 51 クイナ科 52 ヒクイナ 53 タマシギ科 54 タマシギ 55 チドリ科 56 イカルチドリ 57 シロチドリ 58 タグリ 59 シギ科 60 ハマシギ 61 ヘラシギ 62 アカアシシギ 63 ホウロクシギ 64 コシヤクシギ 65 オオシギ 66 セイタカシギ科 67 セイタカシギ 68 ツバメチドリ科 69 ツバメチドリ 70 カモ科 71 シロカモメ 72 スズロカモメ 73 コアジサシ 74 ウミスズメ科 75 マダラウミスズメ 76 ウミスズメ 77 フクロウ科 78 トラフズク 79 コミズク 80 コハズク 81 エソムシクイ 82 キクイタダキ 83 セッカ 84 ホオジロ科 85 コジュリン 86 ホオアカ 87 シマアオジ 88 アトドリ科 89 ベニヒワ 90 ムクドリ科 91 ホシムクドリ	1 タンスイカイメン科 2 ヨトネカイメン 3 シロカイメン 4 ツツミカイメン 5 アマオブネガイ科 6 イシマキガイ 7 マルタニシ 8 カワザンシヨウガイ科 9 ムシヤドリカワザンシヨウガイ 10 ムシヤドリカワザンシヨウガイ 11 ミズゴマツボ科 12 ミズゴマツボ 13 エドガワミズゴマツボ 14 カワグチツボ科 15 カワグチツボ 16 イトカケガイ科 17 クレハガイ 18 セキモリガイ 19 トウガタガイ科 20 スカルミツチキレガイ 21 キヌタレガイ科 22 アサヒキヌタレガイ 23 ニッコウガイ科 24 ユウシオガイ 25 シオサザナミガイ科 26 ムラサキガイ 27 フナガタガイ科 28 ウネナシトマヤガイ 29 タガソデガイモドキ 30 シジミ科 31 ヤマトシジミ 32 オキナガイ科 33 オキナガイ 34 ソトオリガイ 35 シンジユスナウミナナフシ 36 エソトボ科 37 ラフトボ 38 【陸上昆虫類・陸産貝類】 1 ゴマガイ科 2 オオゴマガイ 3 オカモ/アラガイ科 4 ナガオカモ/アラガイ 5 オナジマイマイ科 6 コウダカシロマイマイ 7 イトノボ科 8 アオモンイトノボ 9 カワトボ科 10 アオハダトボ 11 ヤンマ科 12 カドヤンマ 13 サナエトボ科 14 ホンサナエ 15 アオサナエ 16 ナゴヤサナエ 17 エソトボ科 18 キイロヤマトボ 19 トノボ科 20 マイコアカネ 21 タイリクアカネ 22 キリギリシ科 23 カヤキリ 24 ヒシバツ科 25 トゲヒバツ 26 セシキ 27 ハルゼミ 28 トゲアワフキムシ科 29 ムネアカアワフキ 30 サシガメ科 31 マダラカモトキサシガメ 32 マキバサシガメ科 33 キバネアサシガメ 34 ノコギリカメムシ科 35 ノコギリカメムシ 36 アオボ科 37 エサキアサシガメ 38 コオイムシ科 39 コオイムシ 40 タガメ 41 ヒゲナガトビケラ科 42 キンボシツツトビケラ 43 セセリチヨウ科 44 オオチャバネセセリ 45 シジミ科 46 シルビアシジミ 47 タテハチヨウ科 48 オオウラギンズシヒョウモン 49 ツバメ科 50 キンツバメ 51 ドクガ科 52 ナチキシタウガ 53 ハルカ科 54 ハマダラハルカ 55 オサムシ科 56 ダイセンオサムシ 57 イワタメクラチビゴムシ 58 オオヒョウタンゴムシ 59 ゲンゴロウ科 60 マルケシゲンゴロウ 61 コガネムシ科 62 ミツ/エンマコガネ 63 テントウムシ科 64 ジュウクホシテントウ 65 マクガテテントウ 66 カミキリムシ科 67 ベーヅヒラタカミキリ 68 モンクローベニカミキリ	1 ドクダミ科 2 ハングシヨ 3 バラ科 4 シャリンバイ 5 ハマウツボ科 6 ナンパンギセル 7 キク科 8 ウラギク 9 カヤツリグサ科 10 ヒトモトススキ 11 シャジクモ科 12 シャジクモ 13 オトメフラスコモ 14 オオイスソウ科 15 イバラオオイスソウ 16 オオイスソウ 17 イントオオイスソウ 18 コノハ科 19 ホソアヤギス 20 アリノトウグサ科 21 ホザキノフサモ 22 トチカガミ科 23 トチカガミ 24 セキシヨウモ 25 ビルムシロ科 26 オオササエビモ 27 アマモ科 28 コアマモ 29 イバラモ科 30 イバラモ 31 カヤツリグサ科 32 オオクグ 33 ショクグ 34 ウキヤガラ 35 エソウキヤガラ 36 ミンガシワ科 37 ヒメシロアサザ 38 ガガバタ 39 ビルムシロ科 40 ツツイトモ 41 イトクスモ 42 リュウノヒゲモ 43 カワツルモ 44 ミズアオイ科 45 ミズアオイ

■生態系

生態系は、地域を特徴づける生態系を保全するという観点で、上位性、典型性、移動性についてとりまとめ、現在、典型性としてヤマトシジミ等を注目種としています。生態系の調査は、上位性、典型性、移動性に着目した調査を実施します。

○生態系の現地調査

環境要素	調査項目と内容	調査時期
生態系	上位性、典型性、移動性：注目種の分布状況や生息環境の調査、食性や移動状況の調査	四季を基本